

北海道電力株式会社 石狩湾新港発電所向けコンバインドサイクル発電システムを受注
ー 販売拡大に向け東芝と GE の戦略的提携関係を強化 ー

東芝は、北海道電力株式会社から、石狩湾新港発電所の1号機 LNG（液化天然ガス）火力発電設備向けに、米国ゼネラル・エレクトリック社（GE）の新型ガスタービン 9HA と東芝製最新鋭蒸気タービン・発電機を組み合わせたガスタービンコンバインドサイクル発電システム（以下、GTCC）を主契約者として受注しました。

受注したのは、世界最高のプラント熱効率 62%（低位発熱量ベース）^{注1}を実現した GTCC です。計画出力は 569.4MW で、工事開始は 2015 年 10 月を予定しています。今回、東芝と GE がこれまで協力して進めてきた販売活動のなかで、システムの効率性に加え、機器の信頼性、技術力、サービス体制などが総合的に評価され、受注に至りました。両社は本発電システムの提供を通じ、将来的な電力の安定供給に向け、燃料の多様化によるバランスの取れた電源構成の構築に寄与します。

東芝と GE は、1982 年から GTCC に関して協力関係にあり、1996 年 5 月にはサービス分野で合弁会社「東芝・ジーイータービンサービス株式会社」を設立し、ガスタービン高温部品の国内でのメンテナンス体制を確立するなど、協力関係を構築してきました。2011 年 10 月からは、50Hz（ヘルツ）および 60Hz の地域に向けて、世界最高レベルの高効率なシステムについて、グローバルでの販売協力体制を構築し、本格的な商業販売を進めてきました。また、2013 年 10 月には、さらなる関係強化に向け、GTCC の共同企画やマーケティングをはじめ、機器の信頼性や品質向上、次世代の GTCC の開発に向けた戦略的提携関係を構築することで合意しました^{注2}。

東芝と GE は、この戦略的提携契約の締結後における初の案件となる今回の受注を契機に、今後も協力関係を維持・強化し、さらに高効率で、NO_xや CO₂の排出が少なく環境負荷の低い GTCC をグローバルに提案していくことで、火力発電事業の拡大を目指します。

注1 2014年4月15日時点。東芝・GE調べ。

注2 2013年1月に締結した戦略的提携関係の構築に関する覚書に基づく契約です。